

| | | | |
|------------|--|---------|----|
| ふりがな 氏名 | むらた あゆみ 村田 あゆみ | 職名 | 教授 |
| 取得学位 | 修士(言語文化) | 学会での受賞歴 | |
| 主な担当科目 | 保育内容演習(言葉)、保育内容の理解と方法(言語表現)、保育実習指導、幼児と言葉ほか | | |
| 所属学会 | 日本児童文学学会(中部支部運営委員 H25/4～)、日本昔話学会、説話伝承学会、日本保育学会、絵本学会、日本保育者養成教育学会、日本乳幼児教育学会、Pacific Early Childhood Education Research Association | | |

◆ 教育業績

| 事項 | 実施年月(日) | 概要 |
|--|--------------------|--|
| 保育の表現技術「言語表現」(幼保専攻)、幼児の言葉(指導法)の授業における活動① | 平成24年4月～平成31年3月まで | 幼児保育学専攻1年生「保育の表現技術Ⅰ(言語表現)」の授業において、授業者が制作した基本絵本リストより40冊分の絵本記録カードを作成させた。書誌事項の他内容分類、梗概、所感等の項目を設け、絵本についての情報を様々な角度から取り込むことで自らの絵本観を育て、同時に今後の保育現場で生かせる基礎資料となることを目的とした。絵本を深く読むことにより、絵本のもつテーマ性や働きを理解することができた。 |
| 保育の表現技術「言語表現」の授業における活動② | 平成24年6月～平成31年3月まで | 上記授業の後半において「絵本を活用した模擬保育」の企画をグループ演習として展開した。絵本をもとにしてペープサートや劇、遊びなどの児童文化財として制作し発表した。絵本の世界を五感をつかって楽しむことを学生自らが体験しつつ、子どもたちと共感できる学びとなった。 |
| 保育内容演習「言葉」の授業における活動～冊子「実習で見つけた小さなことばたち」の作成 | 平成25年10月～平成31年3月まで | 授業に先立ち、保育実習Ⅰ(平成26年度より教育実習)の際に子どもの言葉を記録しておくよう指示、授業内でエピソード記録としてまとめた上でグループディスカッションを行った。さらに園便りを意識した文体に書き直し、グループ毎の冊子を作成した。何気ない子どもの言葉に耳を傾ける保育者の姿勢、言葉の背景にある理論、読んでもらうことを意識した文章の書き方等総合的な学びとなった。 |
| 「あいちワークショップギャザリング 2018」へのゼミ活動としての参加“はじめてのおつかいにでかけよう”企画と運営の指導 | 平成30年8月 | 椋山女学園大学にて開催されたワークショップ「こどもとアートとモノづくり」に、絵本研究ゼミナール4年生の活動の一環としてブースを出展した。絵本の世界と子どもの実体験をむすぶ活動を通して、子どもの感性や心の発達を学ぶことができた。 |
| 「まなびの文化祭 2018」へのゼミ活動としての参加“はじめてのおつかいにでかけよう”企画と運営の指導 | 平成30年9月29日 | 上記と同内容の活動を絵本研究ゼミナール3年生が行った。3年生の主体的なゼミ活動として大きな意味があった。 |
| 瑞穂児童館共催事業「開かれた地域貢献事業」におけるゼミ活動としての参加 | 平成31年2月9日 | 総研と瑞穂児童館共催事業の一環としてワークショップ「みんな笑顔になっちゃおう! お絵かきトースト作り」 |

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|---|------------------|---|
| 「保育内容の理解と方法(言語表現)」「(幼保専攻)」「保育内容演習(言葉) I, II (児教専攻)」の授業における活動① | 平成 31 年 4 月～継続中 | <p>において絵本研究ゼミナールの学生の指導を行った。本ワークショップは本学総合科学研究所助成金による共同研究「平成 30 年度プロジェクト研究」の一環によるものである。</p> <p>幼児保育学専攻 1 年生「保育内容の理解と方法(言語表現)」、児童教育学専攻 1 年生「保育内容演習(言葉) I」同 2 年生「保育内容演習(言葉) II」の授業において、授業者が制作した基本絵本リストより 40 冊分の絵本記録カードを作成させた。書誌事項の他内容分類、梗概、所感等の項目を設け、絵本についての情報を様々な角度から取り込むことで自らの絵本観を育て、同時に今後の保育現場で生かせる基礎資料となることを目的とした。絵本を深く読むことにより、絵本のもつテーマ性や働きを理解することができた。</p> |
| 「保育内容の理解と方法(言語表現)」の授業における活動② | 平成 31 年 4 月～継続中 | <p>幼児保育学専攻 1 年生及び児童教育学専攻幼児教育コース 2 年生「保育内容の理解と方法(言語表現)」の後半において「絵本シアター」の企画をグループ演習として展開した。絵本をもとにしてペープサートや劇、遊びなどの児童文化財として制作し発表した。絵本の世界を五感をつかって楽しむことを学生自らが体験しつつ、子どもたちと共感できる学びとなった。</p> |
| 「あいちワークショップギャザリング 2019」へのゼミ活動としての参加“海の世界をのぞいてみよう” 企画と運営の指導 | 令和元年 8 月 | <p>椋山女学園大学にて開催されたワークショップ「こどもとアートとモノづくり」に、絵本研究ゼミナール 4 年生の活動の一環としてブースを出展した。レオ・レオニの絵本『スイミー』の世界と子どもの実体験をむすぶ活動を通して、子どもの感性や心の発達を学ぶことができた。また 3 年生も 4 年生の指導下参加し、共に学ぶ場となった。</p> |
| 「まなびの文化祭 2019」へのゼミ活動としての参加“海の世界をのぞいてみよう” 企画と運営の指導 | 令和元年 10 月 5 日 | <p>上記と同内容の活動を児童教育学科教育特色化事業としての活動に出展した。</p> |
| 絵本リスト「子どもの育ちに関わる全ての人に読んでほしい絵本」作成指導 | 令和 2 年 4 月～12 月 | <p>卒論研究としてゼミ生が絵本リスト作成に取り組むにあたっての指導を行った。リストは図書館に寄贈され、インターネット上にも公開されている。</p> |
| 「あいちワークショップギャザリング 2021」へのゼミ活動としての参加“今日はさかなになろう” 企画と運営の指導 | 令和 3 年 11 月 14 日 | <p>椋山女学園大学にて開催されたワークショップ「こどもとアートとモノづくり」に、絵本研究ゼミナール 4 年生の活動の一環としてブースを出展した。村上康成「ヤマメのピンク」絵本シリーズの世界と子どもの実体験をむすぶ活動を通して、子どもの感性や心の発達を学ぶことができた。また 3 年生も 4 年生の指導下参加し、共に学ぶ場となった。</p> <p>上記の取り組みと同内容の活動を、対象年齢を 2 歳児の</p> |

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|---|--------------|--|
| 付属幼稚園プレスクール子育て支援イベントへのゼミ活動としての参加、企画・運営の指導 | 令和3年11月27日 | 親子に変更して実施した。大型絵本の読み語りや身体表現活動等も取り入れた。学生たちにとって、2歳児の発達を考慮して企画を練り直す経験は保育現場で求められる柔軟性の学びにつながった。 |
| 「あいちワークショップギャザリング 2022」へのゼミ活動としての参加“はじめてのおつかいこいこ”企画と運営の指導 | 令和4年8月27日 | 相山女学園大学にて開催されたワークショップ「こどもとアートとモノづくり」に、絵本研究ゼミナール4年生の活動の一環としてブースを出展した。絵本『はじめてのおつかい』の世界と子どもの実体験を結ぶ活動を通して、子どもの感性や心の発達を学ぶことができた。また3年生も4年生の指導下参加し、共に学ぶ場となった。 |
| 付属幼稚園プレスクール子育て支援イベントへのゼミ活動としての参加、企画・運営の指導 | 令和5年2月17日 | 未就園児の親子を対象とした事業に3年生ゼミ活動として参加、企画と運営を行った。大型絵本や身体表現活動の他、『はらぺこあおむし』の絵本の世界をトンネルで再現し、子どもが絵本の登場人物になり切り、絵本の世界に入る経験の場を構成した。 |

◆ 研究業績

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備 考 |
|-----|--|-----|------------|----------------------------------|---|
| 著 書 | 『教員免許更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3』 | 共 | 平成30年7月 | 三恵社 | 第3章領域及び保育内容の指導法 第3節保育者を目指す学生の絵本シアターの企画と実践—領域「言葉」についての学び— 全202頁中、pp.176-185 執筆 著者:村田あゆみほか23名 |
| | 『シリーズ教育・保育の論点 学びの深化』 | 共 | 令和4年7月 | 三恵社 | 第3部 領域および保育内容の指導法 第1章 児童文化財としての紙芝居—紙芝居の誕生とあゆみ— 全107頁中、pp.92-99 執筆 |
| 論 文 | 加古里子論—『だるまちゃんとてんぐちゃん』を中心に— | 単 | 平成30年12月 | 児童教育論集 第2号 | pp.157-166 |
| | 戦後名古屋におけるキリスト教保育の特色～1950年代の保育日誌の検討～ | 共 | 平成31年1月 | 聖公会保育 第24号 | pp.58-78 片山伸子、山本聡子、 <u>村田あゆみ</u> |
| | 保育現場で児童文化財は活用されているのか—幼稚園における言語活動に関する一考察— | 単 | 令和元年12月 | 児童教育論集 第3号 | pp.76-85 |
| 論 文 | 幼児教育の5領域を主題とする「つ | 共 | 令和3年 | 総合科学研究 第14号 | pp.107-119 |

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|------|---|-------------|----------------------|---|--|
| | くる、たべる、おしゃべりする」対話 型ワークショップデザインの実践的 研究 | | 5月 | | 堀祥子、 <u>村田あゆみ</u> 、阪野朋子 |
| | 保育現場に流布する「三びきのこ ぶた」のルーツに関する一考察 | 単 | 令和3年12 月 | 児童教育論集 第5号 | pp.140-149 |
| | 戦後名古屋におけるキリスト教保 育の特色(2)―1950年代の保育 内容に着目して― | 共 | 令和4年3 月31日 | 聖公会保育 第27号 | 片山伸子、山本聡子、 <u>村田あゆ み</u> pp.4-26 |
| | 保育現場に流布する「三びきのこ ぶた」のルーツに関する一考察 (2)―川崎大治のテキストの検討 ― | 単 | 令和4年12 月13日 | 児童教育論集 第6号 | pp/113-122 |
| 学会発表 | Practical Research on the Theme of Traditional Play, as It Relates to Early Childhood Care and Education | 共 | 令和元年 7月 | The 20 th Pacific Early Childhood Education Research Association (PECERA) | <u>村田あゆみ</u> 、堀祥子 発表要旨集 p.370 |
| | The Story of the “Three Little Pigs” in Kindergartens and Nurseries – Recreating a Folktale Kamishibai | 単 | 令和2年 7月 | The 21 st Pacific Early Childhood Education Research Association International Conference (PECERA 2020) | Certificate of Abstract Acceptance |
| | 保育現場に流布する「三びきのこ ぶた」のルーツに関する一考察 | 単 | 令和3年5 月15日 | 日本保育学会第74回 大会 | 発表要旨集 |
| | 保育者養成校の大学生の学びと 「つながる、広がる、深まる」地域連 携ワークショップの形～コロナ時代 のビフォー・アフターを考える～ | 共 | 令和3年5 月16日 | 日本保育学会第74回 大会 | 堀祥子、 <u>村田あゆみ</u> 、命婦恭 子、岩佐明子、木下靖子 発表要旨集 |
| | Foreign Folktales in Japan- Thinking through Folktale Picturebooks- | 単 | 令和3年7 月3日 | The 21 st Pacific Early Childhood Education Research Association International Conference (PECERA 2021) | Certificate of Abstract Acceptance |
| | 戦後名古屋におけるキリスト教 保育の特色 ―1950年代の保 育内容に着目して― | 共 | 令和3年12 月18、19日 | 日本乳幼児教育学会 第31回大会 | 山本聡子、片山伸子、 <u>村田あゆ み</u> 発表要旨集 pp.56-57 |
| 学会発表 | (続報)保育現場に流布する「三 | 単 | 令和4年5 | 日本保育学会第75回 | 発表要旨集 pp.611-612 |

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|-----|--|-------------|---------------------------|--|---|
| | びきのこぶた」のルーツに関する一考察ー川崎大治の2つの紙芝居を中心にー | | 月 15 日 | 大会 | |
| | 昭和初期の保育者養成機関における教育内容と生徒の力量形成に関する歴史的研究 (1) | 共 | 令和 4 年 5 月 15 日 | 日本保育学会第 75 回 大会 | 発表要旨集 pp.993-994 科研費基盤研究(C)21K02367 |
| | A Study of the Composition of “The Story of the Three Little Pigs” in Japan: Analysis of Kamishibai Script by Daiji Kawasaki | 単 | 令和 4 年 7 月 9 日 | The 22nd Pacific Early Childhood Education Research Association International Conference (PECERA 2022) | Certificate of Abstract Acceptance |
| 講演会 | 『はじめてのおつかい』を読んでみようーえほんの絵を読むー | 単 | 平成 30 年 10 月 16 日 | 寝屋川市立市民会館 | NPO 法人子どもと本をつなぐ会 ～おおきくなあれ～絵本の講演 会 |
| | 加古里子の絵本の数々ー子どもと遊びと絵本ー | 単 | 平成 30 年 11 月 6 日 | 寝屋川市立市民会館 | NPO 法人子どもと本をつなぐ会 ～おおきくなあれ～絵本の講演 会 |
| | 子どもたちに絵本の魅力を届けるためにー読み聞かせボランティア講座ー | 単 | 令和元年 7 月 23 日、 30 日 | 東海市立横須賀図書館 | 東海市教育委員会(東海市立中央図書館) 主催事業 |
| | ブックスタートボランティア研修 | 単 | 令和 2 年 3 月 17 日 | あま市美和公民館 | あま市教育委員会主催 |
| | 放課後児童支援員資質向上研修 | 単 | 令和 3 年 11 月 2 日 | 一宮市役所 | 一宮市子ども家庭部子育て支援課主催事業 |
| | 読み聞かせ交流会 絵本入門運講座 | 単 | 令和 4 年 10 月 3 日 | 京都市左京図書館 | 京都市左京図書館主催事業 |
| | 読書ボランティアスキルアップ講座 | 単 | 令和 4 年 10 月 18 日 | 愛知県生涯学習推進センター／愛知県青年の家(サテライト会場) | 愛知県生涯学習推進センター 主催事業 |